



水の流れ 水の形

6年生

12月

できた!

を生み出すポイント



薄くのばせて、
焼き物のように固く
なるねんどを使用!

きれいな「水の流れ」を
体験して表現できます。



ニスをはめるとより
水らしくなります!



手もよさず
らくらく水の流れが
つくれます!



「水の流れ」を
表現するのに
ちょうど良いかたさの
ブルーの液体のり

※作品にはニスをぬっています

3つの特長

水の流れや水の溜まる形を思い浮かべながら、
粘土で水を感じる形をつくる

- 1 薄くのばせて、教科書通りの作品にしやすい粘土
- 2 水として流すのに良いかたさのブルーの液体のり
- 3 4色の砂やラメは色水をつくれるビニール袋入り

セット内容

- 石粉ねんど 1 ラメ(白) 1
 液体のり(ブルー) 1 ラメ(黄) 1
 色砂(青) 1 ラメ(緑) 1
 ※セット用チャック付き袋はねんど保管袋になります



用具

①ねんどをねる



包そう紙を開ける前に軽く四方をたたきつけ、ねんどをほぐす。中身を取り出しよくねる。

②形をつくる



「水」が流れるようすを想像して、上から下に流れやすいような作品を考えてつくる。

③よくかんそうさせる



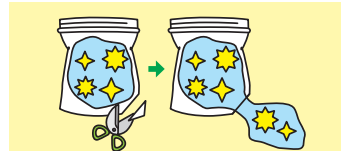
風通しが良く、直しゃ日光のあたらない屋内で良くかわかす。

④流す色水をつくる



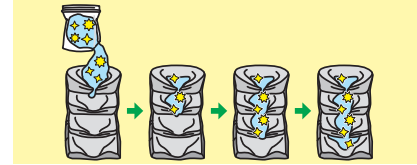
ラメや砂の入ったビニールふくろに液体のりを入れてジッパーをしめる。中身をよく混ぜて4色の色水ふくろをつくる。(液体のりは1/4ずつ分けて使う)

⑤色水を流す準備



色水をしぼり出しやすいようにふくろの下の方に集める。ふくろの下のスミを少しはさみで切る。(穴が大きすぎると色水が一度にたくさんでるので注意しましょう)

⑥つくった色水を流す



つくった色水は白→黄→緑→砂(青)の順番で作品の上から流す。4種類の色水の流れを楽しもう。(つぶの大きい砂は後から流しても重さで下にしずみます) ※あわはようじなどでつぶしてください。水の流れを調節したい時は作品の向きを変えてみましょう。

⑦ニスをぬって仕上げる



のりが完全にかわいたらニスをぬって仕上げる。ニスをぬると色水がより水らしく見えます。



株式会社 東栄社
東京都葛飾区奥戸7-8-4 03-3691-1881 www.e-toei.co.jp

16-1426